

# 壊れたスマホ

～「壊れている」をどう言うか～



## 学習のポイント

- 「～されている」と英語で言える
- 動きを表す語の第3の形が使える

英語監修・執筆 **鳥飼慎一郎**

## ■コミュニケーション

世の中は因果関係、原因と結果にあふれています。「誰かがパソコンを壊した」、その結果、「パソコンが壊れている」。「窓ガラスが割れている」、その原因は、「誰かが窓ガラスを割った」からだ。こう考えると、物事の結果と原因は裏腹の関係にあるように思います。

英語の表現でも、原因を言う表現方法と、その結果を言う表現方法とがあります。番組でも、フィリップが自分のスマホが壊れているのを見て怒り狂っています。

【原因】 **Someone broke my smartphone.** (誰かがスマホを壊した)

誰かがフィリップのスマホを壊した。その結果、フィリップのスマホが壊れた。だからフィリップは、

【結果】 **My smartphone is broken.** (スマホが壊れている)

というわけです。

英語で「壊す」は **break** と言います。「壊した」と以前のことを言うときには **broke** を使います。今回のように、「壊された」と結果を言うときには、**broken** という形を使います。

**break** (壊す) - **broke** (壊した) - **broken** (壊された)

「壊された」は動きを表す語 **break** の3番目の形ですので、これを「第3の形」と呼ぶことにしましょう。**be** (**is, are, am, was, were**) と、この第3の形を組み合わせると、「～された」という意味になります。

壊れたスマホを誰かが修理しました。「修理する」は英語で、**fix** です。それを使って、

**Someone fixed Philip's smartphone.** (誰かがフィリップのスマホを修理した)

と表現できます。修理した結果、スマホが直れば、

**Philip's smartphone is fixed.** (フィリップのスマホが直っている)

と、「**be+第3の形**」で表現できます。修理するという意味の **fix** は元の形は **fix**、以前のことを表す形は **fixed**、第3の形も **fixed** です。

スーパーに行くと冷凍食品がたくさん売られています。これも、元々は誰かが食品を冷凍した(**froze**) のであり、その結果食品は冷凍されたわけで、これも第3の形を使うと次のように表現できます。

Someone froze the foods. (誰かが食品を冷凍した)

The foods are frozen. (食品は冷凍されている)

「冷凍する、凍らせる」という意味の **freeze** は、元の形が **freeze**、以前のことを表す形は **froze**、第3の形は **frozen** です。

このように、**be** と第3の形を組み合わせると、誰かがある行為をした結果生じた状態について簡潔に表現することができます。

### ■単語や表現

「冷凍食品」は **frozen foods** といいます。この言い方は、第3の形の後に物の名前を続けたもので、第3の形の中はこのような使い方ができるものが多くあります。代表的なものを以下に挙げておきます。結構見たり聞いたりすることが多い表現ばかりです。

broken window (割れた窓)	broken line (破線)	broken heart (失意、失恋)
frozen pizza (冷凍ピザ)	frozen vegetables (冷凍野菜)	
spoken language (話し言葉)	spoken expression (口語表現)	
written language (書き言葉)	written exams (筆記試験)	
boiled water (沸かし冷まし、一度沸かした湯)	boiled egg (ゆで卵)	

第3の形を使った料理はいろいろなものがあります。「(オーブンを使って) 調理する」という意味の **bake** の第3の形 **baked** を使った代表的な例を挙げておきます。どれも後に続く食材をオーブンで調理して作った料理です。

baked potato	baked beans	baked bread	baked ham	baked chicken
baked cookies	baked apple	baked cake		

### ■英語のきまり

#### 第3の形の作り方

第3の形の作り方は、大きく分けて2通りあります。

#### (1) edを付けて作るパターン

既に取り上げた **fix** や **bake** などがこのパターンに当たります。

fix — fixed — fixed

I will fix the TV for you. (テレビを直してあげよう)

Rintaro kindly fixed our car. (麟太郎が親切にも車を直してくれた)

The door was fixed right away. (ドアは直ちに修理された)

bake — baked — baked (最後が **e** で終わっている語は、**d** だけを付けます)

My parents bake bread for us on weekends. (両親は毎週末パンを焼いてくれます)

I baked a cake for the children. (子どもたちにケーキを焼いてあげました)

Bread will be baked soon. (もうすぐパンが焼けるよ)

cook — cooked — cooked

Will you cook this evening? (今晚、料理お願いできる?)

Ryutaro cooked for himself in London. (龍太郎はロンドンでは自炊でした)

Is this cooked well? (これちゃんと調理されてるの?)

boil — boiled — boiled

You need to boil it first. (まず、ゆでてください)

We boiled water, and served tea. (お湯を沸かして、お茶を入れました)

This lobster is boiled. (このエビはゆでてあります)

damage—damaged — damaged

Please do not damage the wall. (壁を傷つけないでください)

The enemy damaged the castle badly. (敵は城に大きな損害を与えた)

The city was damaged by the earthquake. (街は地震で被害を受けた)

dry — dried — dried

We have to dry our clothes. (衣服を乾かさねばなりません)

Ryo dried his body with a towel. (亮はタオルで体を拭きました)

The paint is not dried yet. (ペンキはまだ乾いていません)

pay — paid — paid (ay で終わっている語は、y を i に変えて d を付けます)

Don't worry. I will pay the bill. (心配ご無用、私が代金を払います)

Hina paid 10,000 yen for her shoes. (日梨は靴に1万円払った)

A lot of money was paid for the war. (多くのお金が戦争に使われた)

(2) 不規則に変化するパターン

break — broke — broken

Do not break the rule. (規則を破らないでください)

Philip broke the world record. (フィリップが世界記録を破った)

This engine is broken. (このエンジンは壊れている)

write — wrote — written

I will write you. (手紙を書くからね)

Naomi wrote a thank you letter for her friend. (直美は友達に礼状を書いた)

All the schedules are written here. (すべての予定がここに書いてある)

speak — spoke — spoken

Can you please speak more slowly? (もう少しゆっくり話していただけますか?)

They spoke to their boss about it. (彼らはそのことについて上司に話した)

Some languages are not spoken any more. (話されなくなった言語がある)

column

単語を発音してみよう ⑮

英語の難しい理由の1つに、アルファベットとスペリングの関係があります。英語はアルファベットをそのままローマ字読みしても通じないことが多いです。例えば、以下の組み合わせを見てみましょう。

made mad  
note not  
bite bit  
cute cut



左側の語を、マデ、ノテ、ビテ、クテ、と発音しても絶対に通じません。メイド、ノウト、バイト、キュート、と発音します。左の語の最後の **e** を取ったのが右側に語ですが、これらの発音はマッド、ノット、ビット、カットです。

語の最後が **e** で終わっている語は、その前の **a, i, u, o** はアルファベットと同じ発音になります。上記の語で言えば、**made** の **a** はエイ、**note** の **o** はオウ、**bite** の **i** はアイ、**cute** の **u** はユー、といったようにです。一方、最後が **e** で終わっていない右側の語は、どれも **a, o, i, u** をア（アを発音する口の形をしながらエと発音した音）、オ、イ、ア（日本語のアを強く言った発音）、と発音します。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---